

厚岸町海事記念館通信

発行 厚岸町海事記念館

〒088-1151 厚岸町真栄3丁目4番地

TEL & FAX 0153-52-4040

edu.town.akkeshi.hokkaido.jp/kaiji

No.48

2016年4月発行

厚岸町海事記念館こどもクラブ

だより

11月は、ムラサキキャベツの煮汁を利用して、まぜる液体の性質によって色が変わることを実験しました。お酢だと赤くなったり重曹だと緑色になったりして、とても勉強になりました。

12月はクリスマスリース作り！みんなで思い思いのリースを作ってクリスマスを祝いました。サンタさんは来てくれたかな？

1月はエナメル線を巻いてスピーカーを手作りしました。ラジカセやパソコンから音が出る仕組みも知ることが出来ました。

※ 海事記念館では平成28年度海事記念館こどもクラブの会員を募集します。町内在住の小学校4～6年生なら誰でも入ることができるので、いろいろな工作や実験を楽しもう！

募集期間は4月28日(木)までです。

申し込み・お問い合わせは海事記念館までお願いします。



ムラサキキャベツの実験



手作りスピーカー



クリスマスリース



文化財の活用を学んだ「文化財歴史講演会」!

去る11月7日(土)、本の森厚岸情報館を会場に平成27年度文化財歴史講演会を開催しました。当日は、釧路短期大学の佐藤有紹教授を講師にお迎えし、「史跡景観に『里山思想』を読む」と題してご講演いただきました。

佐藤教授は、講演のなかで、町内所在の文化財、特に史跡に注目し、本州などでみられる、守り育てる自然“里山思想”の考え方を導入することにより、文化財の役割とその活用方法、さらには地域との関わりについてお話いただきました。全体をとおして、これまであまり関心が払われてこなかった、北海道の自然と人との関わりに注目し、自然を維持管理しながら共生していくことの重要性と、そのために文化財を仲介役として活用していく視点を示されました。

文化財は、地域の宝です。今後も、情報発信に努めながら、地域の結びつきを象徴するものとして未来に残していけたらと改めて思いました。



道東地方の資料・風景を題材にパノラマ巡回展を開催します



巡回展 道東の博物館園が選ぶ イチオシの資料・風景

厚岸町からは「過去を今に伝える“絵はがき”資料」と題して海事記念館所蔵の絵はがきを紹介。さらに「オーストラリアとの友好の架け橋イーモント号」と題してオーストラリア・タスマニア州クラレンス市と姉妹都市を結ぶきっかけとなったイーモント号の紹介の2点が出展されます。

巡回展 『道東の博物館園が選ぶ イチオシの資料・風景』

地域の歴史や自然に関する情報拠点である博物館園が、イチオシの所蔵資料や自然風景を紹介したパネルを展示します。道東の歴史や自然に関心をもって頂くきっかけになれば幸いです。

※ 期間中は「収蔵資料ミニ展示」と題して、海事記念館所蔵の絵はがき資料を展示します。

期間 厚岸町海事記念館展示期間
4月29日(金)～5月15日(日)
※毎週月曜日休館
※開館時間 9:00～17:00

場所 厚岸町海事記念館

近くて遠い島“大黒島”の特別展を開催しました！

2月13日（土）から2月28日（日）まで、海事記念館一階展示ホールで、特別展「大黒島～昼と夜の顔～」を開催しました。

大黒島は、対岸の厚岸町ピリカウタから海上1.8kmに浮かぶ、面積1.1km²、周囲6.1km、高さ約100mの海食台地の島です。昭和26年には島の南西部119,937m²が海鳥の繁殖地として国の天然記念物に指定され、また、現在全島が鳥獣保護区特別保護地区として保護されています。

このように、近くてもなかなか行くことができない大黒島で、町内の写真愛好家宮川佳治氏が長年撮り続けている写真を中心に、オオセグロカモメが占拠する昼とコシジロウミツバメが乱舞する夜という変化に富んだ島の表情を紹介しました。

オオセグロカモメの捕食、交尾、ふ化の様子や1980年代初頭の北海道大学奥村助教授らによるコシジロウミツバメの生態研究時の高速ストロボ撮影による飛翔の様子など、日常ではほとんど見ることでできない場面とともに、エトピリカ、ウトウ、ケイマフリなどの鳥たちの剥製も展示しました。また、昭和39年の北海道大学犬飼教授による調査風景や、昭和57年に結成され現在も活動をしている帯広畜産大学ゼニガタアザラシ研究グループの個体数及び個体識別調査の様子も併せて紹介し、大黒島の実像に迫ろうと努めました。

2月20日（土）には、宮川氏の解説でスライド上映会を開催し、海事記念館こどもクラブのメンバーを含む参加者からは、「島に行ってみたい」などの声があがり、大黒島の魅力を満喫していました。



☆アッケシソウ栽培日誌☆

昨年10月末に、町民広場、郷土館前のアッケシソウの種子を採取しました。町民広場のアッケシソウについては、プランターごとに乾燥し袋詰めして保管しています。

今まではプランターの土壌を入れ替えて栽培していましたが、新年度はそのままの土壌に肥料を加えて育てようと考えています。

生態があまりよくわかっていない植物なので順調に生育できるか不安ですが、4月下旬から栽培を開始したいと思っていますので、生長を見守ってください。



授業参観で「厚岸かぐら」を発表！

真龍小学校の3年生が2月18日(木)の授業参観で厚岸町指定無形文化財「厚岸かぐら」を披露しました。

子ども達は、「厚岸かぐら」の伝承活動に取り組んでいる厚岸かぐら同好会(畠山竹士会長)の指導のもと2月5日(金)から練習を始め「助六舞」と「三本とうじ」の2種類の踊りを学びました。

難しい振り付けもあったと思いますが、飲み込みの早さに驚きました。

これをきっかけに「厚岸かぐら」に興味を持つ子ども達が増えて欲しいと思います。



民俗芸能を踊ってみよう!「厚岸かぐら少年団」団員募集

厚岸の民俗芸能である「厚岸かぐら」を踊ってみませんか?

「厚岸かぐら」を後世に残そうと厚岸かぐら同好会が中心となり、「厚岸かぐら少年団」を組織して伝承活動に取り組んでいます。一人でも多くの子ども達が町の歴史・民俗芸能に興味を持っていただけたらと思います。

申込先 TEL 0153-52-4040

厚岸町海事記念館

厚岸町民俗芸能発表会



★ 厚岸町郷土館・太田屯田開拓記念館 開館のお知らせ ★

郷土館・太田屯田開拓記念館は、両館とも4月16日から開館します。

■開館時間 午前9時00分～午後4時00分

■休館日 毎週月曜日、祝祭日の翌日、11月16日～4月15日(冬期閉館期間)

■入館料 100円(高校生以下無料) ※ 団体25名以上は1名60円

■ 本紙掲載の事業・記事についてのお問い合わせ・お申し込みは、
海事記念館(Tel/Fax0153-52-4040) までお願いいたします。